第25回アジア学術会議 カンボジア年次会合
The 25th Science Council of Asia Conference-SCAC-

日本学術会議　第27期
記者会見（令和8年11月27日）
資料1

開催概要

- 日本学術会議では、アジアの国・地域を中心に学術研究分野での連携・協力を図る国際的なプラットフォームとして、2000年に**アジア学術会議(SCA: Science Council of Asia)**を創設。
- 以降、加盟するアカデミーが持ち回りで毎年年次会合を開催し、**日本学術会議が恒常的な事務局機能を担っている**。
- 2026年11月19日から20日の間、**カンボジア工科大学（Institute of Technology of Cambodia）**の主催により、**第25回アジア学術会議年次会合がカンボジア・シェムリアップで開催**。「強靭な未来のための持続可能な技術とデジタルトランスフォーメーション」をテーマに、**約20か国・地域より約150名が参加**。
- 日本学術会議からは、「令和８年度アジア学術会議に関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針（令和８年１月27日第３９６回幹事会決定）」に基づき、**以下の会員・連携会員が対面で登壇**。



日本学術会議から参加した会員・連携会員（６名）

加藤 和人 日本学術会議会長
（ヒューマン・メタバース疾患研究拠点特任教授（常勤）／大阪大学名誉教授）

髙山 弘太郎 連携会員
（豊橋技術科学大学大学院工学研究所教授／愛媛大学大学院農学研究科教授）

窪田 幸子 連携会員
（学校法人芦屋学園芦屋大学長／神戸大学名誉教授）

標葉 隆馬 連携会員
（慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科准教授）

金谷 有剛 連携会員
（国立研究開発法人海洋研究開発機構地球環境部門地球表層システムセンターセンター長）

張 勁 連携会員
（富山大学副学長・学術研究部理学系教授）



年次会合の様子(1) －日本学術会議代表派遣者－



加藤 和人 会長
Opening Ceremony



窪田 幸子 連携会員
Plenary Session



標葉 隆馬 連携会員
Parallel Session 2



金谷 有剛 連携会員
Future Earth Symposium



張 勁 連携会員
Future Earth Symposium



髙山 弘太郎 連携会員
Integrated Cross-Session

年次会合の様子(2) －日本学術会議海外招へい者－

日本学術会議の会員等6名のほか、海外招へい者5名をカンボジア年次会合へ招待し、幅広くアジアの知見を共有。



Looi Lai Meng氏（マレーシア）
Plenary Session



Looi Lai Meng氏（マレーシア）
Management Board Meeting



Liaquat Ali氏（バングラデシュ）
Plenary Session



Anik Bhaduri氏（オーストラリア）
Future Earth Symposium



Pakpong Pochanart氏（タイ）
Future Earth Symposium



XU Guanqun氏（中国）
Management Board Meeting

第25回アジア学術会議 カンボジア年次会合
The 25th Science Council of Asia Conference-SCAC-

- 今大会から、各パラレルセッションでの議論を分野横断的に統合・整理し、大会全体の成果につなげることを目的として、「**統合セッション**」（Integrated Cross-Session）を新設。
- これにより、①各パラレルセッションで得られた知見や議論を、②統合セッションで集約・整理し、③大会宣言（6ページ参照）に反映することで、分野を超えた議論の成果を大会全体として発信した。

① ９つのパラレルセッション（1日目：パラレル１～５ ／ 2日目：パラレル６～９）

パラレル1 Sustainable Technologies, Smart Systems, and Environmental Resilience	パラレル2 Resilient Futures, Inclusive Societies, and Climate Action-01	パラレル3 Resilient Futures, Inclusive Societies, and Climate Action-02
パラレル4 Platform for Air Quality Research in Cambodia	パラレル5 Airborne Chemical Components and Health Risk	パラレル6 Sustainable Technologies, Smart Systems, and Environmental Resilience
パラレル7 Resilient Futures, Inclusive Societies, and Climate Action	パラレル8 New Observation Targets for Air Quality and Climate	パラレル9 Air Quality Assessment: Emissions, Modelling and Exposure

② 統合セッション（髙山事務局長:議長）
各パラレルセッションの共同議長が参加し、議論の内容を共有。

③ 閉会式での大会宣言（髙山事務局長読み上げ）

②



③



第25回アジア学術会議 カンボジア年次会合
The 25th Science Council of Asia Conference-SCAC-

理事会の開催

■カンボジア年次会合期間中に開催された理事会（Management Board Meeting）では、主要な議題について審議・意見交換が行われた。また、CASTから次回年次会合の開催概要について報告があり、最後に第25回アジア学術会議大会宣言（次ページ参照）が採択された。

SNASの加盟

2026年11月、シンガポール国立科学アカデミー（SNAS）からSCAへの加盟希望が示されたことを受け、シンガポールの科学技術研究庁（A*STAR）、フィリピン国立研究評議会（NRCP）、パキスタン科学アカデミー（PAS）、日本学術会議（SCJ）の計4アカデミーの推薦をもって審議した結果、出席理事の全会一致により新規加盟が承認された。

Singapore National Academy of Science

次期役員候補の指名

次期SCA役員候補について審議が行われ、承認された。



President
Xue Qikun
(CAST)



Vice President
Po Kimtho
(ICT)



President Elect
Malik Ranasinghe
(NASSL)



Secretary General/
Treasurer
TAKAYAMA Kotaro
(SCJ)

未来戦略計画2028に関する意見交換

SCAが５～６年ごとに改定している戦略計画について、2028年の改定に向けたスケジュール、項目立て等について、意見交換が行われた。





CASTによる2027年SCA年次会合に関する報告

テーマ：The Next Decade of Science in Asia
日時　：2027年11月18日、19日
場所　：中国・深圳
ホスト：中国科学技術協会（CAST）

第25回アジア学術会議 カンボジア年次会合
The 25th Science Council of Asia Conference-SCAC-

■ 理事会で採択し、閉会式で髙山事務局長が読み上げた第25回アジア学術会議大会宣言の概要（仮訳）は以下の通り。本大会宣言は、近日中にSCAサイトにて公表される。

■第25回アジア学術会議大会宣言で示された６つの重点事項

The 25th Science Council of Asia Conference
“Sustainable Technologies and Digital Transformation for a Resilient Future”
19–20 November 2026, Siem Reap, Kingdom of Cambodia

DECLARATION

①持続可能な技術の推進

再エネ・省エネ・循環経済を推進し、脱炭素化と資源効率の向上を図る。

②責任あるデジタル変革

AI等の透明性・説明責任を確保。個人情報保護とサイバー対策を推進。

③包摂性と公平性の確保

女性・若者・障害者等の参画を促し、技術・知識への公平なアクセスを推進。

④環境・健康の強靭化

大気・水・食料・健康を一体的に捉え、「ワンヘルス」の取組を推進する。

⑤科学・政策・社会の連携

人文・社会科学も含む分野横断の研究、科学的助言、教育・人材育成を強化する。

⑥域内・国際協力の深化

国際共同研究、データ・研究基盤の共有、人材育成・能力構築を推進する。